

## 彙 報 (令和三年度)

身延山大学国際日蓮学研究所は令和三年度において以下の活動を行った。

### ○令和三年度 国際日蓮学研究所例会

【第一回】令和四年一月二十日（木）

梵文法華経の文献学的実証研究  
— 仏典の原典を解読する意義 —

西 康友（中央学術研究所学術研究室主幹）

### ○第七三回日蓮宗教学研究発表大会

第七三回日蓮宗教学研究発表大会が令和三年十一月二日（金）、身延山大学にて開催された。

### ○大会役員

顧問 身延山学園理事長 身延山大学長 持田貫宣  
会長 身延山大学副学長 身延山大学国際日蓮学研究所  
長 望月海慧

副会長 身延山大学仏教学部長 池上要靖

準備委員長 身延山大学国際日蓮学研究所主任 木村中一

【個人発表】（当研究所関係者のみ）

・『観心本尊抄』解釈の一視点 庵谷行亨

### 【記念講演】

・「日蓮聖人御生誕をめぐる古文書」

中尾 堯（立正大学名誉教授）

### ○研究成果

本年度は『身延山資料叢書』第九卷（『身延文庫所蔵 日重『和語雑抄』』）を刊行した。

### ○ラオス世界遺産修復プロジェクト

ラオス人民民主共和国アンパバーン世界遺産地域にて活動している本プロジェクトは、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い渡航不可能となった為、やむを得ず中止となった。現在、情報文化観光省・ラオス美術工芸大学の本プロジェクト現地参加者によって現地の仏像などの現状確認が行なわれている。また身延山大学仏像制作修復室において、過年度プロジェクト成果によって得られた3D撮影データを基としてラオス世界遺産地区諸寺院に安置される仏像群のレプリカ作成を行なっている。さらに本プロジェクト「20周年記念論文集」を作成しており、令和四年度に刊行予定である。

### ○国際日蓮学研究所役職員（令和三年度）

顧問 岩田諦静、上田本昌、庵谷行亨、岡田行弘、  
岡田真水、加賀美尤祥、北村愛子、武見敬三、  
長澤市郎、浜島典彦、宮川了篤、山田英美、  
渡邊寶陽、藤井教公、中尾 堯  
所 長 望月海慧

主 任 木村中一

副 主 任 岡田文弘

所 員 池上要靖、伊東久実、岡田文弘、金 炳坤、

木村中一、田沼 朗、望月海慧、望月真澄

客員所員 桑名貫正、小谷みどり、庄司史生、鈴木隆泰、

高橋賢充、田淵和子、都守基一、寺尾英智、

間宮啓士、長又高夫、檜木博之、名和隆乾、

福士慈稔、三輪是法、柳本伊左雄、吉田永正、

Jonathan Alan Silk、Jacqueline Ilyse Stone、

金 天鶴、Lucia Dora Dolce

研究員 木村良勢、桑名法晃、佐々木さち子、鈴木 稔、

手塚知子、建守善之、富山美由紀、中井本勝、

中野宏子、西 康友、林 是恭、楨殿伴子、

村瀬正光、望月香代、依田郁乃、

GIGLIO Emanuele Davide、Jill Emma Strothman

研 究 生

池田優季名、岡村達人、鈴木義孝、深澤葉子、

森田信宏、依田 司、池内恵海、岡村明子、永利 徹

### ○研究所員による海外研究発表・講演など

#### (主要仏教関係のみ)

令和三年度の研究所員による海外研究発表・講演などは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う渡航制限により活動することができなかった。

### ○研究所学術交流・学術交流

本研究所では現在、大韓民国東国大学校仏教文化研究院及び大

韓民国金剛大学校仏教文化研究所、大韓民国高麗大藏経研究所と学術交流を行っている。特に昨年度より大韓民国東国大学校仏教文化研究院とともに身延文庫調査などを行い、その結果を三・四年かけて研究成果として形とすべく活動を行っている。本年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により実働は叶わなかったが、東国大学校仏教文化研究院の本プロジェクト主研究員である金天鶴教授と木村中一研究所主任がリモート会議を開催し、来年度以降の研究ワークショップもしくは合同研究会を開催していこうとの合意に達している。

また本年度の研究例会（前記参照）の前日一月一九日（水）には、身延山樋澤坊において西 康友氏と国際日蓮学研究所所長・望月海慧、同主任・木村中一、同副主任・岡田文弘で「研究所間会議」が行なわれ、本例会の内容を『日蓮学』第六号において出版する旨、また中央学術研究所と国際日蓮学研究所との提携について両者検討に入ることが合意された。また来年度は正式に両研究所間で学術提携を交わすべく、提携内容について話し合うこととなった。

#### 計 報

当研究所顧問 上田本昌先生（祥遵院日皓上人 身延山大学名誉教授・法喜山山澤寺第四七世）が令和四年二月二五日に遷化されました。ここに謹んで増円妙道をお祈り申し上げます。